

10月11月
合併号です!

~文化祭スローガン~ 「天歌統一！」

王子桜中のパワーと文化を示す、 感動あふれる文化祭!



美術部作品
岡本太郎「重工業」の模写

十月二十七日(土)、王子桜中学校第八回文化祭が開催されました。秋晴れのもと、朝早くから多数の保護者の方、ご来賓、地域の方々においでいただき、誠にありがとうございました。当日は、生徒・教職員五百七十名、保護者、ご来賓、地域の方々八百人を超え、全体で千四百人近くの参観者でした。体育館は熱気あふれる雰囲気です。生徒たちも熱く燃えました。

今年のスローガンは「天歌統一！」でした。四文字熟語をもじったスローガン、舞台上でクラス全員が心を一つにして歌い上げていくという意味ととらえ、その通りに体育館は熱気にあふれ、エネルギーあふれる素晴らしい文化祭となりました。一年生は初めての合唱コンクール、力一杯大きな声で一年生らしい合唱を聴かせ、二年生は昨年の経験を生かして、男子が大きな声で充実した合唱を聴かせてくれました。そして三年生、最後の文化祭ということで迫力ある、熱い思いを込め、感動あふれる熱唱を聴かせてくれました。各クラスの今までの取り組みを十分に発揮した、心に響く合唱でした。合唱の後



王子桜中おやじの会
A1がラブリ(腕相撲大会)
1階の開放室では、王子桜中おやじの会による腕相撲大会でした。大勢の男子が挑戦しましたが、さすがお父さん、強かった!女子も沢山挑戦、そこは優しいお父さんたち、女子には...?



校学級の力作も展示されていました。力を入れて制作した木工作品、書写やスケッチなど、頑張った作品感心しました。そして、素敵なPTA作品、おやじの会による腕相撲大会、大賑わいでした。沢山の皆様に支えられて、今年も王桜中生徒は、中学生らしい「青春」を發揮することができた文化祭でした。大勢の保護者・地域の皆様、ご参観いただき、ありがとうございました。

「いじめ」について考える
大津市の「いじめ」により尊い命が失われるという事件以降、品川区でも同じような事件があり、「いじめ」が大きな社会問題になっています。教育に携わるものとして、悲しい出来事の連続に心が締め付けられる思いです。教育現場における「いじめ」は、新しくも古くからある悩める課題です。中学時代は第二の自我形成期で心の不安定な時期で、自他の関わり方の正しい距離感がまだとれない時期でもありません。その中で「いじめ」という行為は、自己形成の弱さから他人の「弱み」を笑い、いじめることによって優越感を得、自己の存在を示すという誤った行動です。

学校生活の中では「いじめ」を絶対に許さず、全教職員が子どもの表情や行動の変化を見逃さず、アンテナを高くし、早期発見・早期対応、そして解決に向けて努力しています。でも、子どもの心の揺らぎに一番気がかかるのは接する時間が最も多い親であると思います。保護者と教師がしっかりと連携を取り、「いじめ」問題に取り組みたいと思えます。そして一番の解決は、子どもたちに正しい自己肯定感を育て、自己に自信を持つことにより、他人の心情を理解し、認め合い、思いやりの心を育ていくことだろうと考えます。そのような「心の教育」を行う現場は「家庭」と「学校」です。そのことをしっかりと念頭に置き、学校の役割を果たしていきたいと強く考えています。校長 高張 雄彦

~王子桜中ファミリーの交流活動~



王子小音楽集会で、王桜中合唱コンクール優勝クラス3年3組が合唱を披露しました。

王子桜中ファミリーは王子小、東十条小、さくらだ幼稚園、そして王子桜中の3校1園でファミリー活動を行っています。主な活動は、教員の教育研究で全教員による「幼小中一貫教育」の取り組みです。今年も6回、授業研究(指導案検討、研究授業、研究協議)を実施NIEに関する講演会等を実施しています。園児・児童・生徒の交流活動の実践。



東十条小フェスタのオープニングで、王桜中吹奏楽部がミニ演奏会をしました。



王子小の連合陸上競技会へ向けての練習に、王桜中陸上部が練習のお手伝いをしました。

10月14日(日)東小フェスタが開かれ、吹奏楽部がオープニングでミニコンサートを行いました。ディズニーメロデーなど演奏、パフォーマンスも披露し、大きな拍手をいただきました。11月10日(土)、王子小の朝の集会で、合唱コンクール3年優勝の3組が「大地讃頌」「3月9日」の2曲を披露し、素敵な合唱を響かせました。10月17日の小学校連合陸上競技大会に向けての王小の練習に陸上部が応援、走法やハードルの飛び方を丁寧に教えました。職場体験学習(7月9~13日)で、さくらだ幼稚園に本校生徒7名が幼稚園で体験しました。可愛い園児達と楽しく触れ合いながら、幼稚園の先生の大変さを実感しました。